

〔倭名類聚抄五〕相模三佐加

〔饅頭屋本節用集左〕相模三相州

〔地名字音轉用例〕ウノ韻ヲカノ行ノ音ニ轉ジ用ヒタル例

さがむ 相模國 佐加三 相ハサウノ音ナルヲ韻ノウラ轉ジテサガニ用ヒタリ此國名ハハモ

歌ニモ佐賀牟トアリ模字モモノ音ナレバムニ近クシテミニハ遠シトサガムナ

〔倭訓栞前編十一〕さがみ 相模はさがさうの轉みはもの轉也相樂をさがらとよむも同じも

と坂見の義にて足柄宮根より見下す國なる故也といへり又牟佐上のむを略したる也むさしにむかへていふともいへり

〔古事記傳二十七〕相武國武字諸本に模も作り書記釋又神名秘書今は眞福寺本延佳本に依れり

記中には武字は假字に用ひたる例は無けれども凡て國名地名には常の假字には用ひざる字當を書たる例多し吉備の如し高志の如し高字伊賦夜坂波邇賦坂などの賦字伊服岐山の服字常藝野

羽右の類なりさて又記中國名の字凡て尋常に異なる多し山代元邪志三野科野高志多連麻稻

り針問阿岐なり今の本多如相模と作るは後來のさかしたり書易なるべし其類に例もこれか見え

えたり美濃は三野とのみ書るに上卷に一所美濃と書き近淡海とのみ書る例元正紀に酒部連

相武と云人名も見えたり是此國名を古は如此書たりし一の證なり國造本紀にさして和名抄

に相模佐加三とあれども元は佐賀牟なり下なる歌にも然あり模字を書るもムの假字なり此

の假字には遠し大隅國の郡名の馭誤も五牟とあり誤模同音の字なり東遊の一歌に左加安

無乃於禰とあるは相模の峯と云ことなるべし萬葉十四に相模禰乃乎美禰とある相模などを

の郡名夷濼も和名抄には伊志美と云は後にも轉れる唱なるべし上總國國名義の事は下なる歌の

處に云べし

〔諸國名義考上〕相模

和名抄に相模佐加三國府名義は或書に神倭磐余彥天皇欲平東夷之時云々自大山之中津峯遙